

革新精紡法により生産性を飛躍的に向上させた国産実用機

登録番号	第 00387 号		
登録年月日	2025（令和7）年9月18日	登録区分	第一種 (大量生産品等同様のもものが複数あるもの)
名称 (型式等)	豊田ローター式オープンエンド精紡機BD200型		
所在地	愛知県名古屋市中区		
	トヨタ産業技術記念館		
所有者 (管理者)	株式会社豊田自動織機		
製作者(社)	株式会社豊田自動織機製作所（現 株式会社豊田自動織機）		
製作年	1969年		
初出年	1967年 (チェコスロバキア国立綿業研究所(V. U. B.)が世界最大の繊維機械見本市(ITMA)に出展)		
選定理由	本資料は、1967年にチェコスロバキアから発表された原型を、技術提携下で豊田自動織機製作所（現 豊田自動織機）と大和紡績らが短期間に協働で改良し、当時世界から注目を浴びたローター式オープンエンド精紡機である。この精紡機はすでにできた糸端に次々に繊維を供給しながら加撚する革新紡績機で、粗紡工程が不要なローター式はその先駆けであり、従来のリング紡績機の約3倍もの回転数により生産性が飛躍的に向上した。革新的な技術をいち早く取り入れ、広く普及させたという点で紡績技術史上、極めて重要である。		
登録基準	一ーイ（科学技術の発展の重要な側面及び段階を示すもの） 二ーロ（日本経済の発展と国際的地位の向上に一時代を画するような顕著な貢献のあったもの）		

公開・非公開	公開
写真	・コーミングローラーにより、繊維が一本一本にほぐされる ・それを高速回転するローターに送り込む ・ローター内では、綿菓子製造機のようなイメージで繊維束がローター壁に貼りつく ・その繊維束を引き出しながら撚り掛けと巻き取りを行う   豊田ローター式オープンエンド精紡機 BD200型 ローター機構部